

「1から学ぶデジタルインプラント技工」

辻 貴裕

今やあらゆる業界においてデジタル化が進み、歯科技工業界においてもアナログ技法からデジタル技法へのパラダイムシフトが起こっている。

その筆頭が歯科用 CAD/CAM システムであり、ソフトウェア、加工精度の双方での技術革新は目覚ましい。

この流れは歯科技工業界にとって有益なのか否か？デジタル革命にどう向き合っていかなければならないのか？さまざまな意見があるとは思いますが、歯科技工士の離職率の高さと高齢化による人材不足、トレーサビリティも含めた品質管理といった問題や課題を抱えている現状もある。

今回はインプラント技工を主に、アナログ技法からデジタル技法への変革と展望という視点でアナログ手技では加工困難だったチタンやジルコニアといった材料の扱い方、現在のインプラント上部構造の潮流とデジタル技法としての設計や製作方法を解説したい。そしてこれからの歯科技工士に求められる技術や知識についても考えてみたい。